

# 岩木川自然再生事業の取り組み (魚道の整備・魚がすみやすい川の整備)

## 【岩木川の現状】

- 岩木川には、アユ、ウグイ、カジカ、サクラマス、サケなどが海と川、川の上下流を行き来する多様な魚介類が生息しています。
- 中には、カジカ、サクラマスなど絶滅が危惧される貴重な魚介類が含まれています。
- 岩木川の上流域では天然アユがのぼり、市街部でアユ釣りが楽しめます。
- 弘前市周辺では、シゲタ漁と言われるウグイの伝統漁法が今でも行われており、地域と川が密接な関係にあります。

## 【岩木川の自然再生事業】

- ①芦野堰の既設階段式魚道は段差が大きく、大きな魚類しかのぼれていませんでしたが、平成23年3月に整備した緩(かん)勾配(こうばい)式魚道は段差がなく、小さな魚類ものぼれるように改善されました。
- ②弘前市上水道取水堰は河床が低下して、魚道と川の水面の段差が大きく、大きな魚類しか魚道をのぼれていませんでしたが、令和元年6月に段差を緩やかにして、小さな魚類も魚道をのぼれるように改善されました。
- ③川の中の中州が大きくなることで、川幅が狭くなり、アユ・ウグイなどが産卵する浅場も少なくなって、魚がすみにくくなっているため、中州を削って川幅を広くして浅場を増やす『魚がすみやすい川の整備』を行っています。



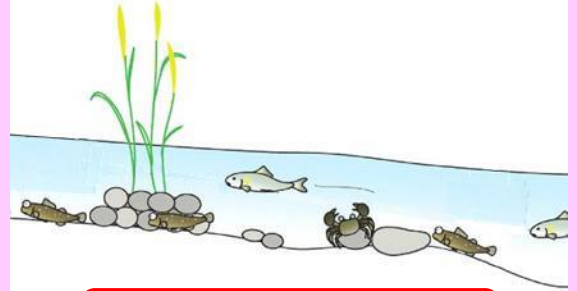
# ① 芦野堰魚道の整備

整備前



階段式魚道は段差が大きく  
大きな魚類しかのぼれません

整備後



緩勾配式魚道は段差がなく  
小さな魚類ものぼれます

# ② 弘前市上水道取水堰魚道の段差解消

整備前



河床が低下して、魚道と川の水面の段差が大きく、  
大きな魚類しか魚道をのぼれません

整備後



低下した河床をR1.6に袋詰め玉石工で埋め戻して、  
魚道と川の水面の段差を緩やかにして、  
小さな魚類も魚道をのぼれます

# ③魚がすみやすい川の整備状況

整備前

川幅が狭く、深く  
なっているため産  
卵場が少ない



川幅が狭く、深く  
なっているため産  
卵場が少ない



川幅が狭く、深く  
なっているため産  
卵場が少ない



深くなっているた  
め産卵場が少ない



整備前の川は、中州が大きくなって川幅が狭く、  
産卵場となる浅場も少なくなっているため、  
魚類の産卵・生息場所が少なく魚がすみにくい環境です

整備後

川幅を広げ、浅  
くしたため産卵  
場が増えた



川幅を広げ、浅  
くしたため産卵  
場が増えた



整備後に確認したアユの卵



整備後に確認したアユの卵

川幅を広げ、浅  
くしたため産卵  
場が増えた



浅くしたため産  
卵場が増えた



整備後に確認したウグイの卵



整備後の川は、中州を削って川幅を広く、  
産卵場となる浅場を増やしたため、  
魚類の産卵・生息場所が多くなり魚がすみやすい環境となります

### ③魚がすみやすい川の整備箇所位置図

整備箇所	実施年
安東橋	H29. 2
清瀬橋	H30. 2
富士見橋	H31. 2
新鳴瀬橋下流	R 2. 2

